

旧庁舎跡地活用に関する説明会要旨

平成 23 年 3 月 22 日（火） 18:30 神田公園区民館

区説明者：島崎部長・松本参事・清古部長・小川課長

出席者 17 名

質疑応答等

【九段坂病院について】

○九段坂病院の敷地は3,500㎡で旧庁舎跡地の敷地面積と同じだ。それなのに、なぜ現地で建替をしないのか？それから、病院の敷地はどうなるのか？

→・旧庁舎跡地の容積率は700%で、九段坂病院敷地の容積率は400%。現地建替だと、3,500㎡×400%で、14,000㎡ぐらいの建物しか建てられない。

→・九段坂病院の敷地は共済組合のもの。一義的には共済組合が決めていくが、国と相談しながら決めていくことになると思う。今現在、共済組合からは何も決まっていないと聞いている。

○行政なのだから容積率は再開発等のスキームを使うことで変えていくのは可能だろう。共済組合が病院敷地を区民のために使うことにある程度しほりをかけておいた方がいい。病院の跡地がどうなるのか、気になる。共済組合が売るとなれば、旧庁舎跡地に来るのにお釣りが出るのではないか？

→・千代田区には学校跡地等の低未利用地が残っており、新たな土地を購入することは考えていない。

○「購入」とは言っていない。交換することだってある。旧庁舎跡地が病院になるというのなら、区民が使える跡地がほしい。病院の跡地を大手デベに売ってしまう前に区が権利を持つことが可能となるようにできないか？

→・いい提案だと思う。共済組合が跡地を処分する際には、区に相談するように共済組合に申し入れをすることにする。

○そういう事を交換条件にして区民を納得させてほしい。病院自体には反対ではないが、二度と得がたいこの土地の活用について区が勝手に決めているという印象がある。

○区がつくる在宅医療のボリュームが見えない。高齢者にどれだけのベッドを空けてくれるのか？今、大学病院に行くと1日かかりだが、新しい施設ではクラウドを使って、どこどこCTが何日の何時に空いてます、みたいなことをやるとか、いろいろなことが考えられるのではないか？

→・九段坂病院は今後地域医療支援病院として、地域の医師と連携していくことになる。具体的内容については今後検討していく。

○建ってからでは遅い。

→・医師会と協議していく。

○この説明には出てきていない。この計画が病院ありきを前提とした説明のように思える。

○クラウドについての検討はいつまでにするのか？5月の説明会には答えられ

るのか？

- ・相手のある話。協議中なので結論が出れば答えられるし、出ていなければ答えられない。
- ・医師会の先生たちとつめなければならない。今検討を始めたばかりだ。
- ・皆さんの意見をいただいて、なるべく実現したいと思ってやっている。努力したい。5月の説明会で答えられるかどうかはわからないが、努力したい。

【計画全般について】

○九段坂病院とどう連携するかは区民として気になるが、千代田会館と長期的にやったらどうかという意見もある。

- ・九段会館、旧庁舎、千代田会館の三つの建物が一緒にやればよいという話はある。ただ、区が一番つくりたいのは高齢者総合サポートセンターだ。日々在宅療養生活をおくっている人がいる中で、緊急性を持っている。今つくって、第二段階として、隣がいなくなるとか、そういう時に一緒にやるという選択肢は残っている。

○面積割合であるが、区が5,000㎡、病院が19,000㎡となっているが、区の高齢者総合サポートセンターの5つの機能の面積の内訳は？

- ・基本構想時での内訳であるが、高齢者の相談拠点で120㎡、在宅ケア（医療）拠点で710㎡、高齢者の活動拠点で2,200㎡、人材育成・研修拠点で330㎡、多世代交流拠点で500㎡。合計で3,860㎡。他に、駐車場等の共用部分がある。
- ・在宅ケアについては、10床の病床も含まれている。

○10床はサポートセンターの面積に入っているのか？

- ・基本構想には入っていたが、今のところ病院の所に入れる考えであり、サポートセンターには入っていない。

○千代田区がものを言えるように、区が九段坂病院の経営の中に入ることはできないのか？共同経営の形を取れないか？

- ・区は医療に手を出していない。全国的には自治体が建てたり、誘致している例もある。そういうことをすれば、住民への安心感はあるが、金銭的な負担が大きい。地域に負担をかけないでやると、こういうやり方になる。病院が撤退するとサポートセンターの機能が発揮できなくなるので、土地の賃貸借契約の中で、撤退には区の同意を必要とするとかの制約を付けていく必要がある。

○病院をコントロールできるよう、区の資本参加みたいなことは考えられないのか？

- ・株式会社だとできるが、向こうも国のような団体なので難しい。

○今回の説明会のお知らせをもっとわかりやすい方法でできなかったのか？各町会に事前に出して、事前に検討してもらうことも一つのやり方ではなかったか？

○以前は麹町保健所、現在は「えみふる」で機能回復訓練を利用しているが小さい。そういう施設を入れてもらえればありがたい。脳卒中のリハビリで苦勞している人は多い。大きな部屋をつくって、機能訓練を出来るようにお願いしたい。

→・脳卒中等の人が急性期を経て、自宅に帰るまでの間に、回復期リハビリという中間の機能を持たせることで検討を進めている。設置には都の了承が必要になるので、現在都と調整している最中であるが、実現するかどうかは都が認めてくれるかどうかによる。回復期リハビリ病床として40床を考えている。今千代田区にはない機能であり、区としても実現できればいいと思っている。

○お願いしたいことの要点は二つ。一つ目には、一刻も早くつくって下さい。3.11の大震災のようなことが起これば負傷者がたくさん出ることになる。昼間人口が夜間人口の10倍以上も多い中で、区民が安心できる病院が少なすぎる。九段坂病院が区に言ってくるのなら、その機会を利用すべき。老朽化した九段坂病院が崩れる可能性もあるのではないかな？資本参加もいい話だと思う。実際にお金を出せなくても、貸付料を減額してあげればいい。警察病院がなくなって、通信病院にも他からいっぱい患者さんが来る。二つ目には、ビジョンがほしい。震災で九段会館がああいうことになったが、いずれは取り壊さなければいけない。あの場所は江戸城の一部であり、世界遺産にもなり得る景勝地。お花見するのも最高の場所だが、近くに行くとクサイ。蛍が飛ぶような観光地にするようなビジョンをつくってほしい。

→・九段坂病院から要請があり、この話が進んでいる。区としてこの機会を最大限活用していきたい。また、旧庁舎跡地の両隣も含めて今後ビジョンをつくっていきたい。

○病院のそばに温泉をお願いしたい。宮内庁は協力しないかもしれないが、中部日本放送に協力してもらって、いろいろなリハビリに活用できればよい。古地図を見ると、あのあたりには道があった。それを復元してもらいたい。ヘルスとケア、健常者のための施設と病院を両立させればいい。文化も入れる。全体的にやることでスケールメリットが出る。病院も病院らしくない病院、ホテルみたいな病院が理想的。九段坂病院は坂の上から坂の下に来る。我々の病院になるのだから、ネーミングにも気を付けてもらいたい。

→・配慮したい。

○意見公募結果の「医療・福祉」103件の内訳について教えてほしい。

→・医療が33件。福祉が70件で、その内保育機能が7件。医療は男女とも同じくらいで、年代も同じ。福祉は60代、70代が多い。

○旧庁舎跡地についてはもっと有効な使い方があると思う。なぜ、こういう時期に、こういうふうに早急につくるのか？これまでの説明会でも、なぜKKRなのか、という質問が多かった。未だにわからない。4/5が病院で、1/5がサポートセンターという中で、多世代交流拠点サポートセンターの5つの機能の

中に必要なのか？高齢者センター部分が面積的に一番大きい。九段坂病院中心の計画ではないか？区分所有だといっても、病院がなくなった時どうするか？

→・サポートセンターは施設の中から外に出て行くタイプの施設。建物としてはそれ程大きなものは必要としない。サポートセンターの機能を維持するだけの医療機能が必要。大病院だと許容面積的に入らない。小さな診療所だと、一部の診療科しかそろわないことになる。高齢者の医療に対応できる診療科をもった中規模程度の病院が理想的。そんな中、向こうから区に言ってきた。九段坂病院の話は悪い話ではない。ダメになった場合、今以上にいい話が見つけられるか、わからない。まとめ上げて、次の段階に進められればいい。

→・同じ建物を区分所有しているのに、片方だけ壊すということは出来ない。区が買い取るか、区が認めた相手先に売却するか、のいずれかのしぼりをつけることになる。

○病院が破綻した時にどうするか、の課題が残る。壊した場合、どうなるか？今の金額では解体費用を担保できないのではないか？旧庁舎を壊すだけで5億円かかる。

→・保証金は借地料 1/2 減額後の金額が 8,000 万円だとして、30 月だと約 2 億円になる。仮基本合意書では 30 月分以上となっているので、今後さらに検討していく。

○九段坂病院がサポートセンターを支援するには、内容的に区民を優先するものをもっとなければいけない。

→・リハビリ機能は医療機関でないと出来ないものだ。ここの部分をもっとサポートしていただくことが必要。

→・実質的に区民を優先する枠組みをどうつくっていくかが課題。病床の確保あるいは優先的紹介を具体的にどうやって進めていくか、これからつめていくことになる。区民のメリットを抜きにして、九段坂病院との協議はあり得ない。

○先程の説明で「売却しない方針」だとの説明があったが、売る、売らないについて、区長に決められるのか？

→・区長がそういう考え方のもとでやっていくということ。

○どのくらいのスケジュール観か？

→・基本協定締結後、設計で1年ちょっと。建築確認、工事で2年かかる。順調にいったら、合意してから3年。

【意見】

○地震で亡くなった方の黙祷ぐらいすべきだ。